

青梅市吉川英治記念館 ガイドボランティア インタビュー



今号の主な記事

- ◆総合防災訓練の実施、ペットと人が幸せに暮らすために…4面
- ◆マイナンバーカード申請休日臨時窓口…5面
- ◆成人歯科検診・後期高齢者歯科健康診査…6面
- ◆高齢者の方へスマートフォン約5か月無償で貸与…7面
- ◆第64回市民体育大会参加者募集…8面
- ◆新収蔵品展2023…9面
- ◆鉄道公園リニューアル決定企画…10面

青梅市吉川英治記念館の魅力について語っていただきました！

今年から始まった青梅市吉川英治記念館ガイドボランティアについて、ボランティアの岡 光雄さん、太田順一さん、吉村正久さんにお話を伺いました。
(文中のガイドボランティアの敬称略)

柚木町に吉川英治記念館を残したくて

ーガイドボランティアに申し込まれたきっかけは？

吉川英治記念館が吉川英治国民文化振興会から市の方に寄付を申し入れた新聞の記事を見ました。そこで、ぜひ柚木町に記念館を残してもらいたくて、先頭に立って、寄付を受け入れてもらうよう市にお願いに行きました。ガイドボランティアの募集の時にもすぐ応募しました。(岡)

妻が「応募してみたら」ということでガイドボランティアに申し込みました。やってみてすごく面白い楽しいですね。いろいろな方々のご質問を受けると、まだよく知らないことも多く、勉強することで吉川英治先生についての知識が広がり、それが生かせればいいなと思っています。(吉村)

記念館を盛り上げて一人でも多くのお客様に来ていただき、先生の良いところを伝えたいと思い応募しました。一番好きな言葉は先生が好んだ「吾以外皆吾師^{われいがいみなわがし}」という言葉です。先生は本当に謙虚な方で、その言葉を基にこれからも記念館を訪れる方に、元気で気持ちの良いガイドをしたいと思っています。(太田)

梅まつりとともにガイドを始めて

ー現在のガイドボランティアの活動状況について教えてください。

現在11人がガイドボランティア登録をしています。地元の方もいれば、地元企業に勤めている方もいます。2月から3月にかけて梅まつり期間中に初めてガイドボランティアを始めました。今秋に同じような形でガイドを行う予定ですが、今はその間ということで不定期にできる人が交代で、土・日・祝日にやろうということで行っています。

内容としては主屋、それから長屋門等の建物の説明、それから庭園の説明を主に行っています。ガイドの中で、先生の個人的な話も織り交ぜています。(岡)



△インタビューに協力いただいた青梅市吉川英治記念館ガイドボランティアのみなさん
左から太田順一さん、岡 光雄さん、吉村正久さん

先生の自叙伝「忘れ残りの記」には子どもの頃から四半世紀、その後、お父さんとお母さんがお亡くなりになった時のことが書いてあります。非常に苦労されて、小学5年生の時に学校を辞めさせられて奉公に出たという等々のお話があり、読んでいて涙が出てくるような部分も多々ありました。個人的にお勧めしています。(岡)

先生のお勧め作品「忘れ残りの記」



ーガイドにあたり先生の作品は読まれましたか？

先生の作品は、当初「宮本武蔵」ぐらいしか読んでことがなかったのですが、他の作品も知ろうと思い、「新・平家物語」、「私本太平記」、「太閤記」、「三国志」とかいろいろ読みました。その後、先生に関する伝記も読んだりして、自分なりに勉強してきたつもりです。

一期一会の出会いにやりがい

ーガイドして印象に残ったことはありますか？

梅まつりのとき、20組ほどガイドしたのですが、市内の方は2割ぐらい。市内の方が多く見られるのかなと思ってたのですが、意外とほかの地区の方が多いなと思いました。先生はある意味で全国区だなと思いました。

印象に残ったことと言うと、名古屋から来られた方は、先生の作品の挿絵をいつも書かれていた



吉川英治 (1892~1962)



写真提供 (公財) 吉川英治国民文化振興会

吉川英治は、昭和19(1944)年に青梅市吉川英治記念館が建つ、西多摩郡吉野村(現在の青梅市柚木町)に転居し、約9年間、地域の方々との交流を大切に、家族とともに生活していました。吉川英治は主屋を「草思堂」と名付け、ここで代表作「新・平家物語」などを執筆しました。吉川英治は、昭和37(1962)年にこの世を去るまでに「三国志」、「新書太閤記」、「宮本武蔵」、「私本太平記」など多くの歴史・時代小説を残し、現在まで読み続けられています。

昭和35(1960)年には文化勲章を受章し、昭和37(1962)年には市で二人目の名誉市民となりました。

青梅市吉川英治記念館

吉川英治記念館は昭和52年より財団法人吉川英治国民文化振興会により運営されていましたが、令和2年4月に青梅市に寄付され、同年9月7日に市の施設としてオープンしました。

住所 〒198-0064 柚木町1-101-1

電話 ☎74-9477

開館時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

観覧料 大人500円、小・中学生200円



◁年間パスポート販売中！

大人1,400円、小・中学生500円で1年間何度でも入館できます。



友達登録は
こちらから



PC・スマホ フィーチャーフォン



特集

広報おうめ 5・8・15 (3)



杉本健吉画伯をよくご存じで、いろいろ教えていただきました。杉本画伯の地元にある杉本美術館が一昨年の10月に閉館になったことも教えていただきました。

山梨の笛吹市から来られた方は、記念館をよく知っておられて、1年半閉館していた

ことも知っていました。コロナ禍もあったが、やっと来ることができましたということを知って、根強いファンがいるんだなと感銘を受けました。そういう方との一期一会というか、出会で教えてもらうことも多々あり、非常にやりがいがあります。(岡)

記念館庭園は秋の紅葉がすばらしい

一 記念館内の見どころを教えてください。

主屋には先生が「新・平家物語」を執筆していた机があります。ぜひ、その机の前に座って大作家の気分になってもらいたいですね。館内の庭園には、夏にレンゲショウマが咲きます。一番のおすすめは、紅葉のシーズンです。展示館口ビエの椅子に座って、前面のガラスを通して庭園を見ると、樹齢600年の椎の大木とその右側の紅葉がすばらしいです。大きなガラスで、まるで屏風絵を見ている気持ちになります。また、記念館を外から見るのも楽しめます。吉野街道側の駐車場からライトアップされた紅葉や、記念館裏の愛宕神社から見る記念館裏門と紅葉です。杉皮葺きの小さな裏門とその上を覆う紅葉は、すばらしいフォトスポットだと思います。(岡)



△「新・平家物語」を執筆した机(主屋内)



に伝わっていかないんですね。できるだけ早くそういう資料を発掘して後世につなげたいと思います。(岡)

先生が「機織物」、「みがき丸太」「ワサビ」といった地域の事柄を使って作詞し、監修した「吉野音頭」という青梅市の民謡を、館内のすばらしい庭園で地元の老若男女の方に踊っていただけないかなと思っています。歌詞中の事柄は現在とはまるっきり違うかと思いますが、これから子供さん、またお孫さんの方に伝承していければいいかなと思っています。(太田)

先生の資料・エピソードを後世につなげたい

一 今後のガイド活動でやりたい・目指したいことがあれば教えてください。



吉野村時代の先生についての資料とか、エピソードを調べたいと思っています。皆さんにもお話しする材料を作りたいと思っています。

先生と吉野村との関係について、関わった人もお亡くなりになり、両親の代はあった資料が、亡くなった後捨てちゃったとか、資料なんかも段々となくなっていくような気がします。そういった資料があったら、ぜひ教えていただきたいなと思っています。そういうことをきっちりしないと、次の世代

記念館の庭園や建物についての説明をはじめ、展示館内のさまざまな資料、先生と一緒に写っている作家の方々とのエピソード、あるいは、作品などについてうまく説明できるようになりたいと思っています。

また、記念館を訪れた子ども達に、かつて青梅に住んでいた先生が、どのような作品を書き、また、どのような作家だったかなどを説明し、子ども達が、「青梅にそんなすごい作家がいたのか」と興味や関心を高めてくれるようなガイドができればいいなと思います。(吉村)

今回のインタビュー動画を公開しています。右の2次元コードまたはYouTube市公式動画チャンネルをご覧ください。



青梅市吉川英治記念館イベント

9月7日は英治忌

「英治忌」は、国民文学作家・吉川英治を偲ぶ重要な行事として昭和54(1979)年、吉川英治18回忌の時に主屋で初めて開催されてから、地域の方々や来訪者に親しまれています。

今回も、吉川英治の写真を主屋に飾り、また、杉本健吉画伯の「涅槃図」などを特別に公開します。

※今年度から9月7日当日は観覧無料

日時 9月7日(木) 午前10時～午後5時

- 内容 ▷吉川英治写真パネル等を屋外通路や主屋内に展示
- ▷英治忌限定の生菓子・「菊一花」および紅梅まんじゅうの販売
- ▷お茶会を開催し、お点前の披露および英治忌限定の生菓子の提供(有料)



講談「玉川上水物語」

日時 9月17日(日)
午後2時～2時30分(1時30分開場)

会場 吉川英治記念館主屋内
対象 市内在住・在勤の方
内容 玉川兄弟、羽村から江戸までの水の道を作る

講師 菊地玉雲氏
定員 先着30人

申し込み
19日から電話で青梅市
吉川英治記念館へ
※別途要観覧料

